

大月町 議会だより

93号

6月定例会

6月定例会

平成30年6月定例会は14日から19日までの会期で開き、陳情5件、契約5件、補正専決1件、補正予算2件、条例専決2件、条例1件、人事案件1件の計17議案を審議し、原案のとおり可決しました。

一般質問は3人が登壇し、執行部をただしました。

もくじ

- P 2 風力発電完成
- P 4 5 契約を可決
- P 6 陳情・条例等
- P 7 所管事務調査
- P 8 一般質問
- P 11 みんなの広場
- P 12 こんにちは

表紙写真によせて



「ぼくも撮って」「わたしも撮って」と駆け寄ってきた子どもたち。笑顔が最高です。

完成

四国最大規模

5月22日、ウインドファームによる大洞山風力発電の竣工式が、議員も参加し開催されました。

大洞山風力発電は、11基3万3000キロワットの出力で四国最大規模です。



大洞山風力発電

待たれる観光開発

5月26・27日の一般開放では、延べ267人が足運びました。

これから、大月町の観光の目玉として大洞山を整備する必要があります。
町長の手腕に期待します。



大洞山風力発電の竣正式

5契約を可決

成ヶ丘団地1棟新築、橘浦漁港の物揚場整備、中央分団に小型動力ポンプ付積載車購入、12月に完成する通所介護施設に必要な備品を購入、姫ノ井の簡易水道整備と5つの契約を可決しました。

地域優良賃貸住宅新築工事

姫ノ井の成ヶ丘団地に1棟6世帯の住宅を新築する

▼契約金額 2億412万円

▼契約の相手方 株式会社山本建設

▼契約期間 平成31年2月15日まで



現在の建物と同規模

橘浦漁港機能高度化工事

橘浦漁港に物揚場を整備する

▼契約金額 984万3600円

▼契約の相手方 月灘建設株式会社

▼契約期間 平成31年1月16日まで



物揚場整備予定場所（赤枠内）

小型動力ポンプ付積載車購入

第4分団中央部に購入する



同型の消防車

- ▼ 契約金額 799万2000円
- ▼ 契約の相手方 高知消防システム株式会社(高知市)
- ▼ 契約期間 平成31年1月31日まで

通所介護施設備品購入

ユニット型施設向け入浴装置、自立補助入浴装置、浴室用ベッド、車椅子用体重計、歩行訓練用階段、下肢屈伸運動椅子、上肢交互運動器、マッサージチェアなどを購入



車椅子用体重計

- ▼ 契約金額 884万8872円
- ▼ 契約の相手方 四国医療サービス株式会社(愛媛県)
- ▼ 契約期間 平成30年12月13日まで

簡易水道施設整備工事

消火栓4基を含む姫ノ井の簡易水道を整備する

- ▼ 契約金額 9460万8000円
- ▼ 契約の相手方 月灘建設株式会社
- ▼ 契約期間 平成31年2月28日まで

補正予算

全員賛成

平成29年度

- ◆ 一般会計専決(第8号)

5051万1000円を追加し、
47億7820万7000円とする。

平成30年度

- ◆ 一般会計(第1号)

2300万9000円を追加し、
48億5800万9000円とする。

- ◆ 介護保険特別会計(第1号)

11万2000円を追加し、
7億9999万2000円とする。

陳 情

全員賛成

陳情は総務厚生常任委員会に付託され、①から④は採択、⑤は不採択という原案になりました。

この案を本会議で審議し、原案のとおり可決しました。

① 日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める意見書提出の陳情

② 「国一律の最低賃金制度の確立と最低賃金の大幅引き上げによる地域活性化、そしてそれを可能にする中小企業支援策拡充を求める意見書」提出の陳情

③ 義務・高校標準法を改正し、抜本的な教職員定数増を求める意見書提出の陳情

④ 特別支援学校の設置基準の策定、及び、特別支援学級の学級編制標準の改善を求める意見書提出の陳情

⑤ 「大学生への給付奨学金制度の拡充」を求める意見書提出の陳情

⑤の不採択の理由

給付奨学金は、生活の苦しい学生を優先すべきこと。また、大学生の奨学金制度の拡充より、保育園の無料化を優先的に取り組むべきことという意見が出されました。

条 例

全員賛成

◆ 大月町税条例の一部を改正する条例

専 決

◆ 大月町税条例の一部を改正する条例

◆ 大月町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

人 事

全員賛成

人権擁護委員（推薦）



頭集 森下 誠氏
まこと

議会報告会

議会報告会は、4月23日から6月4日にかけて10カ所で実施しました。たくさんの方が参加があり、貴重な意見や要望をいただきました。ありがとうございました。

みなさんの要望は、整理して町長に提出し回答を求めます。



和気あいあいの龍ヶ迫地区議会報告会

所管事務調査(中間報告)

観光資源の活用(要旨)

産業建設常任委員会

夏場には柏島観光への入り込み客が飽和状態である。この状態を解消するための候補地として、体験型観光ができる桜西海岸、白浜(芳ノ沢)がある。

今回は白浜の現地調査を実施したので中間報告とする。

現地は宿毛湾に位置し、西南西に向いていることから、夏場の波や風の影響が少なく、遠浅の砂浜で子どもたちにも安全であり、海水浴場として最適である。

しかし、白浜までの道路事情は悪く、現地

には水道・トイレ・駐車場等の施設がない。

このような状態でも、最近ではSNSで紹介され「隠れたビーチ」として夏には多くの観光客が訪れる。現地地区民の家には女性観光客がトイレを借りに来て、非常に迷惑しているとのことである。

桜西海岸は県の施設として、シャワーやトイレ等が整備されている。白浜はトイレや駐車場がなく、早急に整備することが必要である。



海水浴場として最適な白浜 条件整備が待たれる

6月定例会の傍聴者は
11名でした。

次回定例会は**9月**の予定です。

傍聴のお問い合わせは

議会事務局までお願いします。

(電話：0880-73-1682)

介護計画

本町の要介護者は

横ばいで推移／保健介護課長



高野 真司 議員

問 現在の要介護者の実態は。

岡村保健介護課長 大月荘などの「介護老人施設」に年間延べ人数852名、ぎんなん荘などの「介護老人保健施設」に251名、大井田病院などの「介護療養型医療施設」と「介護病院」で121名となっています。

問 今後予想される要介護者の推移は。

岡村保健介護課長 要介護者は、平成27年度が465名、28年度が443名、29年度が472名となっています。このことから、平成30年度から32年度までの第7期計画においても同じように横ばいで推移すると考えています。

要介護者対策は

地域包括ケアシステムの

構築／町長

問 要介護者をどのように介護していくのか、その計画は。

岡田町長 団塊世代が75歳以上になる平成37年を目前に、要介護状態になった場合でも可能な限り住み慣れた地域で安心して生活が継続できる介護、医療予防、生活支援、住居が

一体に提供される地域包括ケアシステムの構築に取り組まなければならないと考えています。

問 第7期計画における給付見込み予算は。

岡田町長 平成25年度から平成30年度までの介護給付予算は年間7



いつまでも元気にいきいきと

億円前後で、今後も同程度の給付費予算で推移していくと予測しています。

問 介護施設の正職員、臨時職員、パート職員の割合は。

岡村保健介護課長 「高原の郷」臨時職員5名、パート職員2名、「のんびり館」正職員1名、

臨時職員7名、パート職員2名、「月のなごみ」正職員2名、臨時職員7名、パート職員4名です。

岡田特養園長 「大月荘」正職員23名、臨時職員17名、パート職員5名。

なお、年齢構成については、看護師63・5歳、介護士39・9歳、調理師55・8歳です。

臨時やパートが多い

正職員の採用を進める／町長

問 施設運営基準の職員確保ができていますか。また、臨時やパート職員が多い。正職員を増やすことを提言する。

岡田町長 入所者に見合った介護職員数は、県の条例で決められています。介護を受けたい人よりも、介護を

する人が少なくなっているのが課題です。7年先には、団塊の世代が後期高齢者に入っていきます。現状の臨時職員・パート職員でなく、正職員の採用を進め、大月町の介護を守っていかなければならないと考えています。



浦木 秀雄 議員

ゴミ処理問題

ゴミ出し困難者への支援を

前向きに取り組む／町長

問 ゴミ出し困難者への支援は、高齢者対策、環境対策、福祉対策につながる社会保障の問題で、町をあげて取り組むべき課題だと思うが。

岡田町長 社会保障ではないと理解していません。ゴミ出し困難者への支援は、清掃法の中で前向きに対応していきたいと考えます。

問 町が実施した住民アンケートでも、40%の人がゴミ出し支援をお願いしたいと言っている。ゴミ収集箇所を増やす計画はあるのか。

岡田町長 ゴミ収集場所は、現在312カ所あります。収集場所を増やすことについては、自助、共助の面だけでなく公助も含めて地区長と協議をさせていただきたいと思います。

入学準備金

3月支給を

31年度から取り組む

／教育長



問 経済的困難を抱えている準要保護家庭への援助は、「ひとしく教育を受ける権利」を保障するためにも、真っ先に手を差し伸べる問題の1つではないのか。

濱崎教育長 厳しい環境にある子どもの支援は大事だと思っています。しかし、全ての支援制度に優先順位はないと思っています。

問 入学準備金の3月支給は検討されてきたのか。また、支給されるのか。

濱崎教育長 29年4月1日に法改正があり、教育委員会定例会で検討の結果、31年度からの新入学児童生徒用品については、入学前の3月支給とする方針で考えています。

公文書管理

しっかりした管理を

規程に沿って進める／町長

問 国の公文書改ざん・隠ぺい問題を大月町の問題として受け取る必要がある。大月町公文書管理の精神は。

岡田町長 公文書は、主権者である住民が主体的に利用し得るもので、行政の適正かつ効率的な運営と、住民に対する説明責任を全うすることを目的としています。

問 大洞山発電における契約、町還元の交渉記録が残されていない。しっかり残すべきだ。

岡田町長 協定書、覚書、確認書、地上権設定契約書、調印式、地区の懇談会、会議録は保存されています。これからも、文書管理規程に沿って進めていきます。



仕事に励む人たち（教育委員会）

お猿公園

今後の運営は 管理委託業務を続ける／町長



安岡 邦彦 議員

問 野生の猿との触れ合いが観光客を楽しませていたが、現在では公園で猿を見かける機会は少ない。また、猿が人家近くまで移動し作物に被害をもたらしている。どのように運営するのか。

岡田町長 猿が公園内から移動して、作物への被害が拡大すると同時に来場者も年々減少している現状です。

今後は猿に関する専門家の意見を聞きながら、管理委託業務を続けていきます。

また、本年度、大月町観光審議会にお猿公園も含めた「観光のあり方」について諮問していますので、答申を受けたのち検討します。

問 一切から展望台とお猿公園に通じる道路は急カーブと見通しが



お猿はどこへ（お猿公園）

悪く道幅も狭いため、車の行き違いも危険な状態である。拡張の計画は。

岡田町長 この地域は足摺宇和海国立公園区域なので、時間はかかると思いますが関係部署と協議をします。

また、道幅を一層狭くしている支障木や雑草を切るための協議を早急にするよう指示しています。

問 大堂展望台入り口にあるトイレは数年前から使用禁止となっている。観光客が快適に使用できる施設に改修を。

久松まちづくり推進課長 今議会に補正予算を提案しています。可決されれば、至急入札し、直ちに工事を行い観光地にふさわしい施設としていきます。

また、道幅を一層狭くしている支障木や雑草を切るための協議を早急にするよう指示しています。

備長炭

安定的な原木確保を 関係機関と協議／町長

問 備長炭生産は「町の産業」として定着している。現在10基の炭窯で10名が生産に取り組み、6000万円を売り上げるまでに成長した。しかし、町外からの買い付けにより原木代の高騰が続き、原木確保が難しい状況にある。

また、1年間、炭の生産に必要な面積は20ヘクタールと言われている。これだけの面積の確保は、製炭組合だけでは難しい。安定的な生産を図るための支援を。

岡田町長 町の原木が他の市町村に流れていることは憂慮している状況であり、持続可能な林業振興を図るには、原木確保が最大の課題です。ウバメガシは国有林に多く自生しており、それを活用できないか四国森林管理局に要請しています。

また、森林組合と原木確保に向けて協議を行うとともに、製品の向上と生産意欲の高揚を図るため取り組んでいきます。



生産に励む炭職人

みんなの夢を追う 広 場

大月の宝

坂本

卓優 たくま さん（頭集）

備長炭づくりを始め
て8年目に突入しまし
た。自分の窯を持つて
からは試行錯誤を続け、
他の生産者と協力しな
がら炭を焼いています。
僕は家庭を持ち、二人
の子どもを養っていま
す。

これまで大月町の備
長炭の発展に寄与して
くださった方々には、
感謝しかありません。

ですから、自分たちが
製炭に励むことで、町
の産業として定着させ
ることが最大の恩返し
だと思っています。

今いる大月町の子ど
もに少しでも仕事の選
択肢となるよう、この
産業を将来へつなげて
いくことが、これから
の自分たちの役割だと
考えています。



大月ふれあい市は今

谷岡 のりやす 憲泰 さん（郷）



出品物も年ごとに充
実し、出品者の熱い意
気込みが感じられる。
大月にとってなくては
ならない存在。

会員の高齢化が進む
中で若干の不安もある
が、少量でもいい、み
んなで力を合わせてい
けばさらに展望は開け
るはずである。

訪れるお客様も着実
に増加し、遠くから足
を延ばしてくれる人も
多く、大月の素晴らし
い景観に感動、味覚に
満足し、ここで獲れた
特産品を土産に買って
くれる人も多い。

今や、ふれあい市は
施設のリニューアル
も構想段階から計画段
階になり、出品者サイ
ドに立ったりニューア
ルを行政に強く求めた
い。

こんにちは

苦勞の人生

田城 谷 計吉さん(84歳) や え こ 八重子さん(72歳)



谷計吉さんご夫妻を訪ねました。84年の人生を語ってくれました。

養子となる

10歳の時、計吉さんは、お婆の家の養子になりました。

山師として働く

15歳、中学校を卒業するとすぐ山師として働くようになりました。

山師としてある程度力を付けた計吉さんは、西土佐村黒尊くろもんの山を37町歩買いました。人夫も6人雇いました。ところが、木の値段が急に下がって、人夫賃が払えず、困って山に1人で入り、雪道をとぼとぼ歩いたこともありましたが、この難局をなんとか乗り越えました。

結婚

30歳の時、奥屋おくやない内で働いていた奥さんと知り合い結婚します。しかし、山師の仕事が続けることができません。田城に帰ってきました。



苦楽を共にしてきた人生のよきパートナー

3人役働く

田城では酪農を始めました。同時に、米を作ったり、大月運送の仕事をしたりしました。朝早くから牛の世話をし、昼間は中村のひまわり牛乳の工場に牛乳を運び、夜は牧草を植え、稲は夜刈ったこともあったそうです。「3人役は働いた」と言っていました。

振り返って

会計や区長など、地区の仕事も40年にわたって務めてきた計吉さん。「いま思うことはどんなことですか」と聞くと、「苦勞の人生やった。でも、よく頑張ったなあ」と手を見てもしみじみ語ってくれました。

編集後記

♪そろりそよ風 稲穂も揺れて 揺れて煙草の葉も匂う♪

大月音頭の一節です。

▼当時は、32戸の農家がたばこを作っていました。四国一の生産量を誇り、大変活気のある時代でした。

▼時代は移り、本年3月には、四国最大規模の発電量を誇る風力発電施設が大洞山に完成しました。新たな観光資源としても、町への還元が期待されるところです。

▼そして次は、四国一の幸福量を誇る町を目指し、日々の議会活動に取り組んでまいります。(安岡邦彦)

議会広報常任委員会

委員長 浦木 秀雄
副委員長 山本 恒和
委員 安岡 邦彦
委員 野村 満久
委員 久米 里志

発行／高知県大月町議会
編集／議会広報常任委員会

高知県幡多郡大月町弘見2230
TEL(0880)73・1682

印刷 有限会社 宿毛印刷